

# 代数学幾何学及び演習 I [演習] (2006/11/09)

Ver. 1.0

栗野 俊一

kurino@math.cst.nihon-u.ac.jp

<http://edu-gw2.math.cst.nihon-u.ac.jp/~kurino/2006/linear/linear.html>

2006 年 11 月 9 日

## 概要

代数学幾何学及び演習 I [演習]<sup>1</sup>の 2006/11/09<sup>2</sup>の資料

## 目次

1	演習	1
1.1	当日の資料の PDF 版	1
1.2	当日の講義メモ	1
1.3	当日の計算問題	1
1.4	当日の演習資料	1

---

<sup>1</sup><http://edu-gw2.math.cst.nihon-u.ac.jp/~kurino/2006/linear/linear.html>

<sup>2</sup><http://edu-gw2.math.cst.nihon-u.ac.jp/~kurino/2006/linear/20061109/20061109.html>

# 1 演習

## 1.1 当日の資料の PDF 版

次の URL を参照すれば、当日の資料の PDF 版が入手できます。  
2006/11/09 の資料の PDF 版<sup>3</sup>

## 1.2 当日の講義メモ

次の URL を参照すれば、当日の講義のメモが入手できます。今日の講義メモ (SJIS 版)<sup>45</sup>(EUC 版<sup>6</sup>)

## 1.3 当日の計算問題

当日の計算演習の資料は、これ<sup>7</sup>です。  
演習の最初の 20 分で、この計算問題を解きます。  
本日は小テストですので、計算問題はありません。

## 1.4 当日の演習資料

当日の演習の資料は、これ<sup>8</sup>です。

• 提出:

- 次回までの課題提出の範囲は、問題 166 から問題 210 までで、その中から 4 題選択して提出します。
- 学籍番号が奇数の人は、問題番号が奇数のものから 4 題、偶数の人は、偶数の番号の問題から 4 題、各自、選んで下さい。
- ここで言う「一題」というのは、「その問題の小問全部」という意味です。
- 提出は、紙で結構です。必ず、次の内容を入れてください。
  - \* 学籍番号
  - \* 名前
  - \* 選択した問題の番号
  - \* 課題の出題された日時 ( cf. 今回の場合 2006/11/09 )
  - \* 問題の回答
- 提出期限は、原則として、次の演習の終りの時間までです。

---

<sup>3</sup>./20061109.pdf

<sup>4</sup>./memo.sjis.txt

<sup>5</sup>資料の原本は、linux 上の EUC 版の方ですが、MS-Windows で Download して見る場合は、SJIS 版を利用した方が便利でしょう。

Web Browser で見る場合は、どちらも同じです。

<sup>6</sup>./memo.txt

<sup>7</sup>../ex/ct017/ct017.pdf

<sup>8</sup>../ex/ex015/ex015.pdf

- 課題の提出は必ず行ってください。期限に間に合わない場合は、期限後でも結構ですので、提出してください<sup>9</sup>
- 提出物は原則として、返却しません。どうしても、原本を残したい場合は、コピーを作って、そのコピーの方を提出してください。
- - 発表は、任意ですが、加点の対象になります<sup>10</sup>。
  - 発表の場合は、小問単位で構いません。
  - 発表の順位は、原則として、速いもの勝です。

---

<sup>9</sup>提出期限が遅れたものに関しては、減点の対象とします。

<sup>10</sup>できるだけ、発表で、点数を稼ぎましょう。